

発 言 通 告 書

令和6年9月10日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 池 田 美 恵

次のとおり通告します。

発言順位	4	受領日時	9月 10日 午前 10時 55分	3 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 120 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	緑町における土砂崩れについて	(1)「緊急車両用道路に発生した亀裂は軽微なもので、道路使用に問題はない」との判断は、正しかったのか、正しくなかったのであれば、本来どうすべきだったのか問う。 (2)結果的に土砂崩れを予見できなかったことについて、市長はどのような気持ちでいるのか。 また、今後、土砂崩れを起こさないよう、何をどのように改めて管理していくのか、責任者としての所見を問う。 (3)計画では、土砂崩れのおそれがあると認識しながら、結果的に対策が間に合わず、不十分だったことについて所見を問う。 (4)修復工事には緊急性があると文化庁へ伝えて、工事を急ぐべきだったと思うが、当時の判断は誤っていたと考えているか所見を問う。 (5)緊急車両用道路の整備にあたり、地質調査や設計、施工等にごのような問題があるのか見解を問う。 (6)市が管理する城山全体の安全性を第三者の目で調査することについて市長の所見を問う。 (7)緊急車両用道路は消防車両等が走行できる構造を備えているのか問う。 (8)災害や訓練などで消防車両が何回走行したのか、利用実績を問う。 (9)緊急車両以外の車両が使っている実績はどの程度あるか。 (10)緊急車両用道路の整備にかかった費用と財源を問う。 (11)緊急車両用道路を整備しようと決めたきっかけを問う。 (12)避難を余儀なくされた男女別、年齢別の人数及び世帯数を問う。 (13)介護が必要な方及びペットを飼っていた方のそれぞれの人数について

No.	件名	発言の要旨
		(14)持病がある方や介護が必要な方、ペットと暮らす方々をどのように避難させたのか。 また、避難所における配慮が必要な方々への対応状況を問う。
		(15)被災者の困り事をワンストップで受け付ける特設窓口を、避難者の最寄りに設置することについて、市長の所見を問う。
		(16)補償関連費をいまだ上程できていない理由を問う。
		(17)今回の緑町の土砂崩れが、宝谷池の事案と何が違うから補償できないのか、調査検討に時間がかかるのか。
		(18)住民に対する防災情報の伝達や避難の呼びかけについて、今後どのような改善をしていくのか。
		(19)今回の土砂崩れを経験し、今後どのような姿勢で市民を守っていくのか、今一度、市長の覚悟を問う。
		(20)観光地に災害が起き、近隣の商店や宿泊施設に影響が懸念される場合、市はどのような対応を取るべきと考えるか。
		(21)観光危機管理計画の策定について、今後どのように取り組むのか。
2	人口減少対策について	(1)若年世代、特に女性の転出超過を解消するため、女性の意見を把握し、女性が暮らしやすい施策を展開することについて、市長の所見を問う。 (2)婚姻件数の増加を目指し、取組を改善し加速することについて ①令和の多様なスタイルの結婚観や夫婦が協力し合ってパートナーシップを築く機運を醸成することについて ②若い世代、未婚者が自主的に集う場への支援について ③結婚したいと感じる場面に触れる機会を増やすことについて ④結婚に関する支援の対象年齢を拡大することについて
3	松山市民の経済状況について	(1)本市の消費支出が2年連続で全国最下位の結果を、市長は住みやすい街という評価を表しており、名誉な結果であると受け止めているのか。3月議会の答弁の真意を問う。 (2)本市の消費支出が2年連続で全国最下位となった結果の2023年家計調査において、本市市民の収入は、どのようにになっているか。全国県庁所在地の順位も併せて問う。

